

インターファカルティ教育研究イニシアティブ(IFERI)

高度国際発信力プログラム必修科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------------------|------|-----|--------|------|-----|--------|---------------------------|--|-------------|
| 02DZ001 | 文明対話学序説 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 月2 | 人社B620 | 青木 三郎 | 文明の多様性を特に東アジアから地中海までの言語文化圏に焦点をあてて理解し、高度に対話する技術を学ぶ。日本語日本文化と深い関わりのある東アジアの漢字文化、中央アジアのチュルク語、中東・北アフリカのセム語、アフロ・アジア言語、地中海・ヨーロッパの多言語文化と対話する技術としての翻訳、対照比較、異文化交流の言説分析、語学教育等を講義する。学生の個々に取り組む人文学の問題を、文明の対話として捉え、新たな問題意識のもとに研究できるようにする。 | |
| 02DZ002 | 社会科学方法論序説 | 1 | 1.0 | 1 | | | | | ウェーバーやデュルケムといった古典や社会理論に関する複数の文献を読み解きながら、社会科学の方法論的基礎を学ぶ。そのうえで、学際性を意識したりサーチデザインについての理解を深める。 | 2015年度開講せず。 |
| 02DZ301 | 人文社会科学のためのキャリアデザイン論 | 4 | 1.0 | 1 - 5 | 春AB | 金6 | 人社B620 | 池田 潤, 保呂 篤彦, 竹谷 悦子, 岡上 雅美 | 人文社会科学研究科の大学院生が課程修了後どのような道で活躍することができるのかまた希望する道に進むには在学中にどのような準備をすべきなのかについて、OB・OGの体験談やキャリア支援の専門家のアドバイスを交えつつ、幅広い視野から論じる。 | |
| 02DZ404 | 人文社会科学のための情報コミュニケーション論(1) | 0 | 1.5 | 1 - 5 | 春ABC | 水2 | 人社B620 | 和氣 愛仁 | 人文社会科学系の教育・研究においてICT(情報コミュニケーション技術)を活用するための基礎的知識・技能として、コンピュータおよびコンピュータネットワークの基礎、UNIX系OSの利用、サーバ管理等について論じる。 | |

高度国際発信力プログラム選択必修科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|------------------------------------|
| 02DZ511 | 人文科学特講(1) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ512 | 人文科学特講(1) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ513 | 人文科学特講(1) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ514 | 人文科学特講(1) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ521 | 人文科学特講(2) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ522 | 人文科学特講(2) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ523 | 人文科学特講(2) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ524 | 人文科学特講(2) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ531 | 人文科学特講(3) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ532 | 人文科学特講(3) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ533 | 人文科学特講(3) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ534 | 人文科学特講(3) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ541 | 人文科学特講(4) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ542 | 人文科学特講(4) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ543 | 人文科学特講(4) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ544 | 人文科学特講(4) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ551 | 人文科学特講(5) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ552 | 人文科学特講(5) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|---------------------------------------|
| 02DZ553 | 人文科学特講(5) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ554 | 人文科学特講(5) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ611 | 社会科学特講(1) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ612 | 社会科学特講(1) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ613 | 社会科学特講(1) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ614 | 社会科学特講(1) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ621 | 社会科学特講(2) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ622 | 社会科学特講(2) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ623 | 社会科学特講(2) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ624 | 社会科学特講(2) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ631 | 社会科学特講(3) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ632 | 社会科学特講(3) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ633 | 社会科学特講(3) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ634 | 社会科学特講(3) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ641 | 社会科学特講(4) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ642 | 社会科学特講(4) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ643 | 社会科学特講(4) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ644 | 社会科学特講(4) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ651 | 社会科学特講(5) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ652 | 社会科学特講(5) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ653 | 社会科学特講(5) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ654 | 社会科学特講(5) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |

高度国際発信力プログラム選択科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|---|-----------------|
| 02DZ011 | プログラム演習(1) | 2 | 1.0 | 3 - 5 | | | | | リサーチワークショップによる事前事後の研究指導を受けつつ、フィールドワーク、インターンシップ、学会発表のいずれかを国内外で実施することにより、国際的に活躍するために必要なコミュニケーション能力および行動力を培う。 | 2015年度開講せず。 |
| 02DZ021 | プログラム演習(2) | 2 | 1.0 | 3 - 5 | | | | | リサーチワークショップによる事前事後の研究指導を受けつつ、フィールドワーク、インターンシップ、学会発表のうち、プログラム演習(1)とは異なるものを海外で実施することにより、国際的に活躍するために必要なコミュニケーション能力および行動力を培う。 | 2015年度開講せず。 |
| 02DZ132 | 異分野融合リサーチワークショップ(1) II | 1 | 1.5 | 3 - 5 | | | | | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ133 | 異分野融合リサーチワークショップ(1) III | 1 | 1.5 | 3 - 5 | | | | | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2014年度より4年おき開講。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------------------------------|------|-----|--------|------|-----|------------|--------------------------|--|--|
| 02DZ134 | 異分野融合リサーチワークショップ(1)IV | 1 | 1.5 | 3-5 | 春ABC | 月7 | | 青木 三郎 | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2015年度より4年おき開講。 |
| 02DZ142 | 異分野融合リサーチワークショップ(2)II | 1 | 1.5 | 3-5 | | | | | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ143 | 異分野融合リサーチワークショップ(2)III | 1 | 1.5 | 3-5 | | | | | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ144 | 異分野融合リサーチワークショップ(2)IV | 1 | 1.5 | 3-5 | 秋ABC | 月7 | | 青木 三郎 | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2015年度より4年おき開講。 |
| 02DZ221 | 現地調査演習I | 2 | 1.0 | 1-5 | | | | | リサーチワークショップで必要とみなされた現地調査を実施し、それにとりまう事前事後の研究指導を受けることにより、学術情報の高度な収集・分析能力を培う。 | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ222 | 現地調査演習II | 0 | 1.0 | 1-5 | | | | | リサーチワークショップで必要とみなされた現地調査を実施し、それにとりまう事前事後の研究指導を受けることにより、学術情報の高度な収集・分析能力を培う。 | 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ223 | 現地調査演習III | 0 | 1.0 | 1-5 | | | | | リサーチワークショップで必要とみなされた現地調査を実施し、それにとりまう事前事後の研究指導を受けることにより、学術情報の高度な収集・分析能力を培う。 | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ224 | 現地調査演習IV | 2 | 1.0 | 1-5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ303 | 人文社会科学のための グラントライティング 入門 | 4 | 1.0 | 1-5 | 通年 | 集中 | 人社 B620 | | これからの研究者・教育者には、科学研究費補助金をはじめとする競争的外部資金を獲得する能力(grant writing)が要求される。この授業では、人文社会科学分野の競争的外部資金にどのようなものがあり、どのような点に注意して申請書を書くべきかについて学ぶ。日本学術振興会特別研究員等の申請書の書き方も指導する。 | |
| 02DZ311 | 人文社会科学のための インターンシップ(1) | 6 | 1.0 | 1-5 | 通年 | 応談 | 人社 B620 | 池田 潤, 岡上 雅美, 滝沢 誠, 明石 純一 | 官公庁・図書館・研究所・非営利団体などで40時間程度の研修を行い、就業体験を通して自らの専門分野を実社会の中で捉え直すとともに、自らの進路に関する視野を広げ、実践的な問題発見・解決能力を身につけた者に対して、事前事後の指導を含めて単位を認定する。 | 平成23年度02DZ302に相当 指導はインターンシップの日程に合わせて随時実施 |
| 02DZ312 | 人文社会科学のための インターンシップ(2) | 6 | 1.0 | 1-5 | 通年 | 応談 | 人社 B620 | 池田 潤, 岡上 雅美, 滝沢 誠, 明石 純一 | 一般企業で40時間程度の研修を行い、就業体験を通して自らの専門分野を実社会の中で捉え直すとともに、自らの進路に関する視野を広げ、実践的な問題発見・解決能力を身につけた者に対して、事前事後の指導を含めて単位を認定する。 | |
| 02DZ313 | 人文社会科学のための インターンシップ(3) | 6 | 2.0 | 1-5 | 通年 | 応談 | 人社 B620 | 池田 潤, 岡上 雅美, 滝沢 誠, 明石 純一 | 官公庁・図書館・非営利団体・一般企業などで80時間を越える研修を行い、就業体験を通して自らの専門分野を実社会の中で捉え直すとともに、自らの進路に関する視野を広げ、実践的な問題発見・解決能力を身につけた者に対して、事前事後の指導を含めて単位を認定する。 | |
| 02DZ321 | 人文社会科学のための 授業運営実習 | 6 | 1.0 | 1-5 | 秋ABC | 集中 | 人社 B620 | 宮本 陽一郎 | 教員採用に際し、模擬授業を課す大学が増えつつあります。今日の大学において優れた研究能力とともに優れた教授能力が強く求められることを考えれば、これはきわめて自然なことです。この授業ではマイクロ・ティーチングの実習を通じて、教授法の愉しさを探索します。 | |
| 02DZ405 | 人文社会科学のための 情報コミュニケーション 論(2) | 0 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水2 | 人社 B620 | 和氣 愛仁 | 人文社会科学系の教育・研究を深化させるためのICT(情報コミュニケーション技術)の実践的活用として、プレゼンテーション、画像編集、音声編集、動画編集、HTMLおよびCSSコーディング、プログラミング、動画配信、データベース構築、コミュニティサイト構築、サーバ構築等について論じる。具体的に取り上げるトピックは、履修者の興味および基礎的技能を勘案のうえ決定する。 | |

新領域開拓プログラム必修科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|--|-------------|
| 02DZ011 | プログラム演習 (1) | 2 | 1.0 | 3-5 | | | | | リサーチワークショップによる事前事後の研究指導を受けつつ、フィールドワーク、インターンシップ、学会発表のいずれかを国内外で実施することにより、国際的に活躍するために必要なコミュニケーション能力および行動力を培う。 | 2015年度開講せず。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------------------|------|-----|--------|------|-----|---------|---------------------------|---|-----------------|
| 02DZ021 | プログラム演習 (2) | 2 | 1.0 | 3 - 5 | | | | | リサーチワークショップによる事前事後の研究指導を受けつつ、フィールドワーク、インターンシップ、学会発表のうち、プログラム演習(1)とは異なるものを海外で実施することにより、国際的に活躍するために必要なコミュニケーション能力および行動力を培う。 | 2015年度開講せず。 |
| 02DZ132 | 異分野融合リサーチワークショップ(1)II | 1 | 1.5 | 3 - 5 | | | | | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ133 | 異分野融合リサーチワークショップ(1)III | 1 | 1.5 | 3 - 5 | | | | | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ134 | 異分野融合リサーチワークショップ(1)IV | 1 | 1.5 | 3 - 5 | 春ABC | 月7 | | 青木 三郎 | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2015年度より4年おき開講。 |
| 02DZ142 | 異分野融合リサーチワークショップ(2)II | 1 | 1.5 | 3 - 5 | | | | | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ143 | 異分野融合リサーチワークショップ(2)III | 1 | 1.5 | 3 - 5 | | | | | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ144 | 異分野融合リサーチワークショップ(2)IV | 1 | 1.5 | 3 - 5 | 秋ABC | 月7 | | 青木 三郎 | この授業では受講者1名に対して複数の専攻に所属する教員が3名程度配置される。受講者は自らのイニシアチブで異分野融合型の研究テーマを構想するとともに、その研究の遂行に必要な支援と助言を複数の教員から受けることができる。 | 2015年度より4年おき開講。 |
| 02DZ301 | 人文社会科学のためのキャリアデザイン論 | 4 | 1.0 | 1 - 5 | 春AB | 金6 | 人社 B620 | 池田 潤, 保呂 篤彦, 竹谷 悦子, 岡上 雅美 | 人文社会科学研究科の大学院生が課程修了後どのような道で活躍することができるのかまた希望する道に進むには在学中にどのような準備をすべきなのかについて、OB・OGの体験談やキャリア支援の専門家のアドバイスを交えつつ、幅広い視野から論じる。 | |

新領域開拓プログラム選択必修科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|-----------------------------------|
| 02DZ511 | 人文科学特講(1)I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ512 | 人文科学特講(1)II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定)2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ513 | 人文科学特講(1)III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ514 | 人文科学特講(1)IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ521 | 人文科学特講(2)I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ522 | 人文科学特講(2)II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定)2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ523 | 人文科学特講(2)III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ524 | 人文科学特講(2)IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ531 | 人文科学特講(3)I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ532 | 人文科学特講(3)II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定)2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ533 | 人文科学特講(3)III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ534 | 人文科学特講(3)IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ541 | 人文科学特講(4)I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ542 | 人文科学特講(4)II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定)2013年度より4年おき開講。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|---------------------------------------|
| 02DZ543 | 人文科学特講(4) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ544 | 人文科学特講(4) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ551 | 人文科学特講(5) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ552 | 人文科学特講(5) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ553 | 人文科学特講(5) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ554 | 人文科学特講(5) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ611 | 社会科学特講(1) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ612 | 社会科学特講(1) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ613 | 社会科学特講(1) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ614 | 社会科学特講(1) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ621 | 社会科学特講(2) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ622 | 社会科学特講(2) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ623 | 社会科学特講(2) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ624 | 社会科学特講(2) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ631 | 社会科学特講(3) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ632 | 社会科学特講(3) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ633 | 社会科学特講(3) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ634 | 社会科学特講(3) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ641 | 社会科学特講(4) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ642 | 社会科学特講(4) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ643 | 社会科学特講(4) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ644 | 社会科学特講(4) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |
| 02DZ651 | 社会科学特講(5) I | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2012年度より4年おき開講。 |
| 02DZ652 | 社会科学特講(5) II | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 担当教員は非常勤講師にかわる(予定) 2013年度より4年おき開講。 |
| 02DZ653 | 社会科学特講(5) III | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2014年度より4年おき開講。 |
| 02DZ654 | 社会科学特講(5) IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 |

新領域開拓プログラム選択科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------|------|-----|--------|------|-----|---------|-------|--|----|
| 02DZ001 | 文明対話学序説 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 月2 | 人社 B620 | 青木 三郎 | 文明の多様性を特に東アジアから地中海までの言語文化圏に焦点をあてて理解し、高度に対話する技術を学ぶ、日本語日本文化と深い関わりのある東アジアの漢字文化、中央アジアのチュルク語、中東・北アフリカのセム語、アフロ・アジア言語、地中海・ヨーロッパの多言語文化と対話する技術としての翻訳、対照比較、異文化交流の言説分析、語学教育等を講義する。学生の個々に取り組む人文学の問題を、文明の対話として捉え、新たな問題意識のもとに研究できるようにする。 | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | |
|---------|-----------------------------------|------|-----|--------|-------|------|----|------------|---|--|--|
| 02DZ002 | 社会科学方法論序説 | | 1 | 1.0 | 1 | | | | ウェーバーやデュルケムといった古典や社会理論に関係する複数の文献を読み解きながら、社会科学の方法論的基礎を学ぶ。そのうえで、学際性を意識したリサーチデザインについての理解を深める。 | 2015年度開講せず。 | |
| 02DZ221 | 現地調査演習I | | 2 | 1.0 | 1 - 5 | | | | リサーチワークショップで必要とみなされた現地調査を実施し、それにとりま事前事後の研究指導を受けることにより、学術情報の高度な収集・分析能力を培う。 | 2012年度より4年おき開講。 | |
| 02DZ222 | 現地調査演習II | | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | リサーチワークショップで必要とみなされた現地調査を実施し、それにとりま事前事後の研究指導を受けることにより、学術情報の高度な収集・分析能力を培う。 | 2013年度より4年おき開講。 | |
| 02DZ223 | 現地調査演習III | | 0 | 1.0 | 1 - 5 | | | | リサーチワークショップで必要とみなされた現地調査を実施し、それにとりま事前事後の研究指導を受けることにより、学術情報の高度な収集・分析能力を培う。 | 2014年度より4年おき開講。 | |
| 02DZ224 | 現地調査演習IV | | 2 | 1.0 | 1 - 5 | | | | | 2015年度より4年おき開講。 2015年度開講せず。 | |
| 02DZ303 | 人文社会科学のための グラントライティング 入門 | | 4 | 1.0 | 1 - 5 | 通年 | 集中 | 人社 B620 | これからの研究者・教育者には、科学研究費補助金をはじめとする競争的外部資金を獲得する能力 (grant writing) が要求される。この授業では、人文社会科学分野の競争的外部資金にどのようなものがあり、どのような点に注意して申請書を書くべきかについて学ぶ。日本学術振興会特別研究員等の申請書の書き方も指導する。 | | |
| 02DZ311 | 人文社会科学のための インターンシップ(1) | | 6 | 1.0 | 1 - 5 | 通年 | 応談 | 人社 B620 | 池田 潤, 岡上 雅美, 滝沢 誠, 明石 純一 | 官公庁・図書館・研究所・非営利団体などで40時間程度の研修を行い、就業体験を通して自らの専門分野を社会の中で捉え直すとともに、自らの進路に関する視野を広げ、実践的な問題発見・解決能力を身につけた者に対して、事前事後の指導を含めて単位を認定する。 | 平成23年度02DZ302に相当 指導はインターンシップの日程に合わせて随時実施 |
| 02DZ312 | 人文社会科学のための インターンシップ(2) | | 6 | 1.0 | 1 - 5 | 通年 | 応談 | 人社 B620 | 池田 潤, 岡上 雅美, 滝沢 誠, 明石 純一 | 一般企業で40時間程度の研修を行い、就業体験を通して自らの専門分野を社会の中で捉え直すとともに、自らの進路に関する視野を広げ、実践的な問題発見・解決能力を身につけた者に対して、事前事後の指導を含めて単位を認定する。 | |
| 02DZ313 | 人文社会科学のための インターンシップ(3) | | 6 | 2.0 | 1 - 5 | 通年 | 応談 | 人社 B620 | 池田 潤, 岡上 雅美, 滝沢 誠, 明石 純一 | 官公庁・図書館・非営利団体・一般企業などで80時間を越える研修を行い、就業体験を通して自らの専門分野を社会の中で捉え直すとともに、自らの進路に関する視野を広げ、実践的な問題発見・解決能力を身につけた者に対して、事前事後の指導を含めて単位を認定する。 | |
| 02DZ321 | 人文社会科学のための 授業運営実習 | | 6 | 1.0 | 1 - 5 | 秋ABC | 集中 | 人社 B620 | 宮本 陽一郎 | 教員採用に際し、模擬授業を課す大学が増えつつあります。今日の大学において優れた研究能力とともに優れた教授能力が強く求められることを考えれば、これはきわめて自然なことです。この授業ではマイクロ・ティーチングの実習を通じて、教授法の愉しさを探索します。 | |
| 02DZ404 | 人文社会科学のための 情報コミュニケーション 論(1) | | 0 | 1.5 | 1 - 5 | 春ABC | 水2 | 人社 B620 | 和氣 愛仁 | 人文社会科学系の教育・研究においてICT(情報コミュニケーション技術)を活用するための基礎的知識・技能として、コンピュータおよびコンピュータネットワークの基礎、UNIX系OSの利用、サーバ管理等について論じる。 | |
| 02DZ405 | 人文社会科学のための 情報コミュニケーション 論(2) | | 0 | 1.5 | 1 - 5 | 秋ABC | 水2 | 人社 B620 | 和氣 愛仁 | 人文社会科学系の教育・研究を深化させるためのICT(情報コミュニケーション技術)の実践的活用として、プレゼンテーション、画像編集、音声編集、動画編集、HTMLおよびCSSコーディング、プログラミング、動画配信、データベース構築、コミュニティサイト構築、サーバ構築等について論じる。具体的に取り上げるトピックは、履修者の興味および基礎的技能を勘案のうえ決定する。 | |

現代日本国際比較研究プログラム必修科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------------------|------|-----|--------|-------|-------------|----|-------|---|--------|
| 02DZ714 | 国際比較現代日本研究 ワークショップIV | | 1 | 2.0 | 1 - 5 | 春ABC | 火7 | | 国際的視野を持ったうえで現代日本社会を意識し、現代日本の国際的比較研究に関し議論する。学生自らがグローバルリーダーとなる自覚を持ち、多国籍の研究者と幅広い分野のセミナー及び研究集会を行えるようにする。グローバルな環境の中で、各々専門分野を多方向から見直し、また専門分野外を知ることで、国際的比較力を鍛える。 | 英語で授業。 |
| 02DZ774 | 国際比較現代日本研究 プロジェクト実習IV | | 1 | 3.0 | 1 - 5 | 春ABC ABC | 応談 | 青木 三郎 | 現代日本国際比較研究プログラム履修生を対象に、各自の課題に合わせた実習を行う。 | 英語で授業。 |

現代日本国際比較研究プログラム選択必修科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------------|------|-----|--------|-------|-----|----|-------|--|--------|
| 02DZ724 | 国際比較哲学思想研究 IV | | 1 | 1.0 | 1 - 5 | 春AB | 集中 | 青木 三郎 | 各々学生が持つ哲学・思想を、多国籍、異文化の人々と議論しあうことにより新たな発見を導く。また国際比較の視野を意識することで、客観的思考力、把握力を強化する。 | 英語で授業。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|-------|---|--------|
| 02DZ734 | 国際比較文学研究IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | 春ABC | 集中 | | 青木 三郎 | 本講義では、現代国際社会における異文化接触の諸問題を解決する能力を養成することを目的とし、比較文学という観点から、文学作品の背景にある社会思想や精神、または歴史的、宗教的多様性について検証する。 | 英語で授業。 |
| 02DZ744 | 国際比較言語文化研究IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | 春AB | 集中 | | 青木 三郎 | 本講義では、異文化間コミュニケーションにおいて発生する対立や誤解についてその要因を検証し、国際的な場面で効果的となるコミュニケーション力の理論と技術を学ぶ。また同時に、異文化との接触によって、改めて自国文化と自己アイデンティティの再発見を促す。 | 英語で授業。 |
| 02DZ754 | 国際比較市民社会研究IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | 春ABC | 集中 | | 青木 三郎 | 現代国際社会における異文化接触の諸問題に関して、市民がどのように参加し、貢献できるかを考え、市民社会の多様な主体(個人、自治体、企業、大学NGO/NPO、国際レベルでの比較研究を基礎として、グローバル化する現代社会において求められるガバナンスのあり方を考察する。 | 英語で授業。 |
| 02DZ764 | 国際協力研究IV | 1 | 1.0 | 1 - 5 | 春ABC | 集中 | | 青木 三郎 | 現代国際社会の諸問題に関する国際協力について、政府間機関や国際機関(国連機関やNGO等)が果たす役割を学び、その課題を考える。 | 英語で授業。 |